

飯野医院解体工事

株式会社細田設計

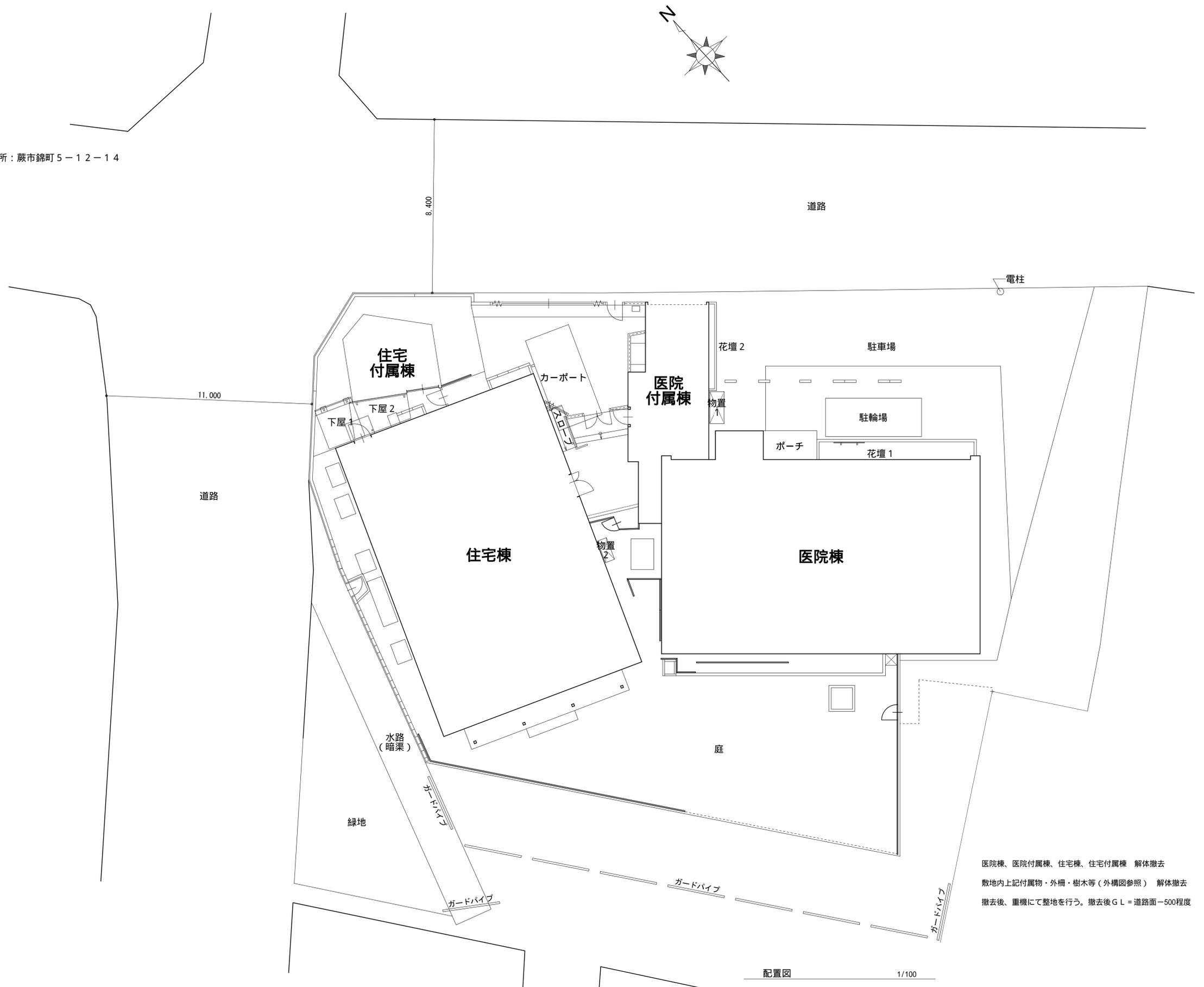
図面リスト			
A - 00	図面リスト		
A - 01	特記仕様書 (改修その1)		
A - 02	特記仕様書 (改修その2)		
A - 03	案内図・配置図		
A - 04	仮設計画図		
A - 101	医院棟 配置・案内図	A - 201	住宅棟 仕上げ表
A - 102	医院棟 設計概要表	A - 202	住宅棟 配置図
A - 103	医院棟 1階平面図	A - 203	住宅棟 配置図
A - 104	医院棟 2階平面図	A - 204	住宅棟 1階平面図
A - 105	医院棟 R階平面図	A - 205	住宅棟 2階平面図
A - 106	医院棟 立面・断面	A - 206	住宅棟 立面図 1
A - 107	医院棟 木造棟	A - 207	住宅棟 立面図 2
A - 108	医院棟 矩計図	A - 208	住宅棟 断面図
A - 109	医院棟 階段断面詳細	A - 209	住宅棟 展開図 1
A - 110	医院棟 階段平面詳細	A - 210	住宅棟 展開図 2
A - 111	医院棟 基礎・杭伏図	A - 211	住宅棟 展開図 3
A - 112	医院棟 1階柱・2階梁伏図	A - 212	住宅棟 展開図 4
A - 113	医院棟 2階柱・3階梁伏図	A - 213	住宅棟 1階天井伏図
A - 114	医院棟 ベントハウス伏図	A - 214	住宅棟 2階天井伏図
A - 115	医院棟 基礎・基礎梁リスト	A - 215	住宅棟 建具表キープラン
A - 116	医院棟 大梁・小梁リスト	A - 216	住宅棟 建具表 1
A - 117	医院棟 柱・スラブ・壁リスト	A - 217	住宅棟 建具表 2
A - 118	医院棟 配筋詳細図	A - 218	住宅棟 基礎伏・床伏図
A - 119	医院棟 階段詳細図	A - 219	住宅棟 床伏図他
A - 131	医院棟 衛生設備仕様書	A - 221	住宅付属棟 平面図・立面図・断面図
A - 132	医院棟 1階空調設備設計図		
A - 133	医院棟 2階空調設備設計図	A - 231	外構図
A - 134	医院棟 R・P H階空調設備設計図	A - 232	建築物等調査箇所図
A - 141	医院棟 電気設備仕様書		
A - 142	医院棟 配置・断面図		
A - 143	医院棟 1階幹線、動力、弱電配線図		
A - 144	医院棟 2階幹線、弱電配線図		
A - 145	医院棟 R階・P H階動力、弱電配線図		
A - 146	医院棟 制御盤・系統図		
A - 147	医院棟 1階電灯コンセント配線図		
A - 148	医院棟 2階電灯コンセント配線図		
A - 149	医院棟 R・P H階電灯コンセント配線図		
A - 150	医院棟 照明器具図 1		
A - 151	医院棟 照明器具図 2		
A - 152	医院棟 1階火災報知器配線図		
A - 153	医院棟 2階火災報知器配線図		
A - 154	医院棟 R・P H階火災報知器配線図		
A - 161	医院棟 衛生設備案内・器具表		
A - 162	医院棟 1階衛生設備設計図		
A - 163	医院棟 2階衛生設備設計図		
A - 164	医院棟 R階衛生設備設計図		
A - 171	医院付属棟 平面図・立面図・断面図		

<p>③ 特別管理産業廃棄物の処理</p> <p>特別管理産業廃棄物の種類 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃石綿等 ・ PCBを含む機器類 ・ PCB含有シーリング材 ・ 廃油 ・ 廃酸/廃アルカリ ・ ダイオキシソ類 <p>処理施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員と協議 	<p><5.4.1></p>	<p>8 リフラクトリーセラミックファイバの処理</p> <p>除去処理対象物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 除去方法 ・ 図示 ・ 処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) <p>9 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣説明及び諸官庁への届出は受注者が行い、事前に監督員と協議をすること。 	<p>7</p> <p>1 施工調査</p> <p>分析調査を行う特殊な建設副産物の種類</p> <p><7.1.3></p>	<p>2 回収及び処分</p> <p>回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類</p> <p><7.3.1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フロン(冷媒) ・ 建材用断熱材フロン ・ ハロン ・ イオン化式感知器 ・ 六ふつ化硫黄(SF6)ガス ・ P F O S (ペルフルオロ(ポリ)エーテル) ・ 特定化学物質() ・ その他の特殊な建設副産物() <p>回収又は処分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械設備図による 	<p>(写真撮影)</p> <p>第4条 前2条に規定する事前調査に当たっては、改ざん(修正、書き込み、削除等)の防止措置を講じたうえで写真撮影するものとする。この場合において、写真撮影が困難な箇所又はスケッチによることが適当と認められる箇所については、スケッチによることができるものとする。</p> <p>2 第2条の一般的事項の調査においては、損傷の有無にかかわらず、原則として、次の箇所を撮影するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 四方からの外部及び屋根 二 各室 <p>3 前条の損傷調査において計測する箇所は、撮影対象箇所を指示棒等により指示し、次の事項を明示した黒板等と同時に撮影するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 調査番号、建物番号及び建物所有者の氏名 二 損傷名及び損傷の程度(計測) 三 撮影年月日、写真番号及び撮影対象箇所 <p>(事後調査における損傷調査)</p> <p>第5条 事前調査を行った損傷箇所の変化及び工事によって新たに発生した損傷については、その状態及び程度を前3条(第10条第2項を除く。)の定めるところにより調査するものとする。</p> <p>2 第3条の事前調査の調査区域外であって、事後調査の対象となったものについては、同条の事前調査における一般的事項に準じた調査を行った上で損傷箇所を調査するものとする。</p> <p>(事前調査書の作成)</p> <p>第6条 事前調査を行ったときは、次の調査書及び図面を作成するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 調査区域位置図 二 調査区域平面図 三 建物等調査一覧表 四 建物等調査図(平面図・立面図等) 五 建物等調査書 六 損傷調査書 七 写真台帳 <p>(事前調査書及び図面)</p> <p>第7条 前条の調査書及び図面は、次により作成するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 調査区域位置図は、工事の工区単位ごとに作成するものとし、調査区域と工事箇所を併せて表示する。この場合の縮尺は、5,000分の1又は10,000分の1程度とする。 二 調査区域平面図は、調査区域内の建物等の配置を示す平面図で工事の工区単位又は調査単位ごとに次により作成する。 <ul style="list-style-type: none"> 口調査を実施した建物等については、建物等調査一覧表で付した調査番号及び建物番号(同一所有者が2棟以上の建物所有している場合は、建物の構造別に色分けし、建物の外号(外壁)を着色する。この場合の構造別色分けは、木造を赤色、非木造を緑色とする。 ハ 縮尺は、500分の1又は、1,000分の1程度とする。 三 建物等調査一覧表は、工事の工区単位又は調査単位ごとに調査を実施した建物について調査番号、建物番号の順に建物の所在地、所有者及び建物の概要等必要な事項を記入する。また、工作物に損傷があった場合には、建物に準じて記入する。 四 建物の建物等調査図(平面図、立面図等)は、第2条及び第3条の事前調査の結果を基に建物ごとに次により作成するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 口建物等平面図は、縮尺100分の1で作成し、写真撮影を行った位置を表示するとともに建物延べ面積及び各階別の面積並びにこれらの計算式を記入する。 ハ 建物等立面図は、縮尺100分の1により、原則として、四面(東西南北)作成し、外壁の亀裂等の損傷位置を記入する。 ニその他調査図(基礎伏図、屋根伏図及び展開図)は、発生している損傷を表示する必要がある場合に作成し、縮尺は100分の1又は10分の1程度とする。この場合において写真撮影が困難であり、又は詳細(スケッチ)図を作成することが適当であると認められたものについては、スケッチによる調査図を作成する。 五 工作物の建物等調査図(平面図、立面図等)は、損傷の状況及び程度により前号に準じて作成する。 六 損傷調査書は、第2条及び第3条の事前調査の結果に基づき、建物等ごとに建物等の所在地、所有者、各室の名称、各部仕上材、写真番号及び損傷の状況等を記載して作成するものとする。なお、写真番号については、次号の写真番号と合わせるものとし、損傷の状況については、事前調査に損傷の状況(亀裂、沈下、傾斜等)及び程度(幅長さ及び箇所数)を記載する。 七 写真台帳は、写真番号、撮影対象箇所及び損傷名を記載し、整理するものとする。 <p>(事後調査書の作成)</p> <p>第8条 事後調査を行ったときは、第6条の調査書及び図面を基に損傷箇所の変化及び新たに発生した損傷について、事前調査までの成果を基に、第6条第一号及び第二号については真向を明示し、同条第三号から第七号までについては事前調査成果を転記し、前条に準じて第6条各号の調査書及び図面を作成するものとする。</p> <p>対象エリア及び建物リスト等 図示による()</p> <p>共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。</p> <p>3 個人情報の保護</p> <p>この契約による業務を履行するため個人情報を取り扱う場合は、「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。</p>	<p>6</p> <p>① 石綿含有建材の事前調査</p> <p>石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手前に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。</p> <p>調査範囲()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 ・ 貸与資料() <p>2 石綿含有分析調査</p> <p>分析による石綿含有建材の調査</p> <p><1.4.1></p> <p>分析対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト <p>分析方法</p> <p>材 料 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 777防水(屋根) <p>3 石綿粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <p><6.1.3></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">測定点</th> <th colspan="3">測定</th> <th rowspan="2">測定点(処理作業区ごと)</th> </tr> <tr> <th>測定1</th> <th>測定2</th> <th>測定3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各2又は3点 ()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・各2点 ()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>・各1点 ()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・4方向各1点 ()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>処理作業後(隔離・除去前)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各2点(測定1又は測定2) ()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後(隔離・除去後)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後(除去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業後(除去後)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定10</td> <td>処理作業後(除去後)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>()点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動測定器による測定 測定4,5 ハネテックカケ、粉じん相対温度計(ゼン)粉じん計、繊維状粒子自動計測器(リフクイカケ-ピカ)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定 ・ JIS K 3850-1に基づいた測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定4,5</th> <th>測定</th> <th>測定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マグネシウム粉の直径(mm)</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>30</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 石綿含有吹き付け材の除去(レベル1)</p> <p>除去対象範囲 図示</p> <p><6.3.1-3></p> <p>除去の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [9.1.3]による ・ 密封処理 湿潤化 ・ セメント固化 ・ 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設または無害化処理施設) <p>5 石綿含有保温材等の除去(レベル2)</p> <p>除去の方法</p> <p>[9.1.4](2)~(5)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合)</p> <p>除去対象範囲 図示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [9.1.3]による(損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合) ・ 除去対象範囲 図示 ・ 密封処理 湿潤化 ・ セメント固化 ・ 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設または無害化処理施設) <p>6 石綿含有成形板等の除去(レベル3)</p> <p>除去対象範囲 図示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有せつこうボード ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設または無害化処理施設) <p>7 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)</p> <p>除去対象範囲 図示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着工前の試験施工 ・ 行う ・ 行わない ・ 除去方法 ・ 密封処理 湿潤化 ・ セメント固化 ・ 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 	測定点	測定			測定点(処理作業区ごと)	測定1	測定2	測定3	測定1	処理作業前	処理作業室内	・各2又は3点 ()点		測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・各2点 ()点		測定3	処理作業中	処理作業室内	()点		測定4	処理作業中	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・各1点 ()点		測定5	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ()点		測定6	処理作業後(隔離・除去前)	処理作業室内	・各2点(測定1又は測定2) ()点		測定7	処理作業後(隔離・除去後)	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点		測定8	処理作業後(除去後)	処理作業室内	()点		測定9	処理作業後(除去後)	施工区画周辺又は敷地境界	()点		測定10	処理作業後(除去後)	施工区画周辺又は敷地境界	()点		測定4,5	測定	測定	マグネシウム粉の直径(mm)	25	47	試料の吸引流量(L/min)	5	10	試料の吸引時間(min)	30	120			240	<p>2 調査対象範囲</p> <p>対象エリア及び建物リスト等 図示による()</p> <p>共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。</p> <p>3 個人情報の保護</p> <p>この契約による業務を履行するため個人情報を取り扱う場合は、「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。</p>	<p>9</p> <p>① 解体工事全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎解体にあたっては、解体後の新築等次工事の支持地盤を荒らさないよう慎重に施工すること。 ○ 大型レッカーを使用する場合は、必要な地耐力が得られるよう必要な養生を行うこと。 ○ 工事に破損した存置構造物、境界標等は必ず現状復旧すること。 <p>2 土壌調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物解体にあたっては、下記物質の土壌調査を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 水銀 フッ素 ホウ素 ジクロロメタン 六価クロム シアン化合物
	測定点	測定			測定点(処理作業区ごと)																																																																												
測定1		測定2	測定3																																																																														
測定1	処理作業前	処理作業室内	・各2又は3点 ()点																																																																														
測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・各2点 ()点																																																																														
測定3	処理作業中	処理作業室内	()点																																																																														
測定4	処理作業中	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・各1点 ()点																																																																														
測定5	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ()点																																																																														
測定6	処理作業後(隔離・除去前)	処理作業室内	・各2点(測定1又は測定2) ()点																																																																														
測定7	処理作業後(隔離・除去後)	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点																																																																														
測定8	処理作業後(除去後)	処理作業室内	()点																																																																														
測定9	処理作業後(除去後)	施工区画周辺又は敷地境界	()点																																																																														
測定10	処理作業後(除去後)	施工区画周辺又は敷地境界	()点																																																																														
測定4,5	測定	測定																																																																															
マグネシウム粉の直径(mm)	25	47																																																																															
試料の吸引流量(L/min)	5	10																																																																															
試料の吸引時間(min)	30	120																																																																															
		240																																																																															
<p>NOTE</p>	<p>株式会社 細田設計</p> <p>1級建築士281144号</p> <p>田中謙也</p>	<p>採取する部位</p> <p>一箇所数</p> <p>備考</p>	<p>DATE</p> <p>JOB</p>	<p>TITLE</p> <p>飯野医院解体工事</p>	<p>ITEMS</p> <p>特記仕様書(解体その2)</p>	<p>SCALE</p>	<p>NO.</p> <p>A 02</p>																																																																										



今回工事場所：森野町5-12-14

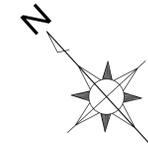
案内図 1/2,500



医院棟、医院付属棟、住宅棟、住宅付属棟 解体撤去
敷地内上記付属物・外柵・樹木等(外構図参照) 解体撤去
撤去後、重機にて整地を行う。撤去後G.L = 道路面-500程度

配置図 1/100

NOTE	株式会社 細田設計 興知事登録(8)1718号 1級建築士281144号 田中謙也	DATE JOB	TITLE 飯野医院解体工事	ITEMS 案内図・配置図	SCALE (A3 1/200) A1 1/100	NO. A — 03
------	--	-------------	-------------------	------------------	---------------------------------	---------------



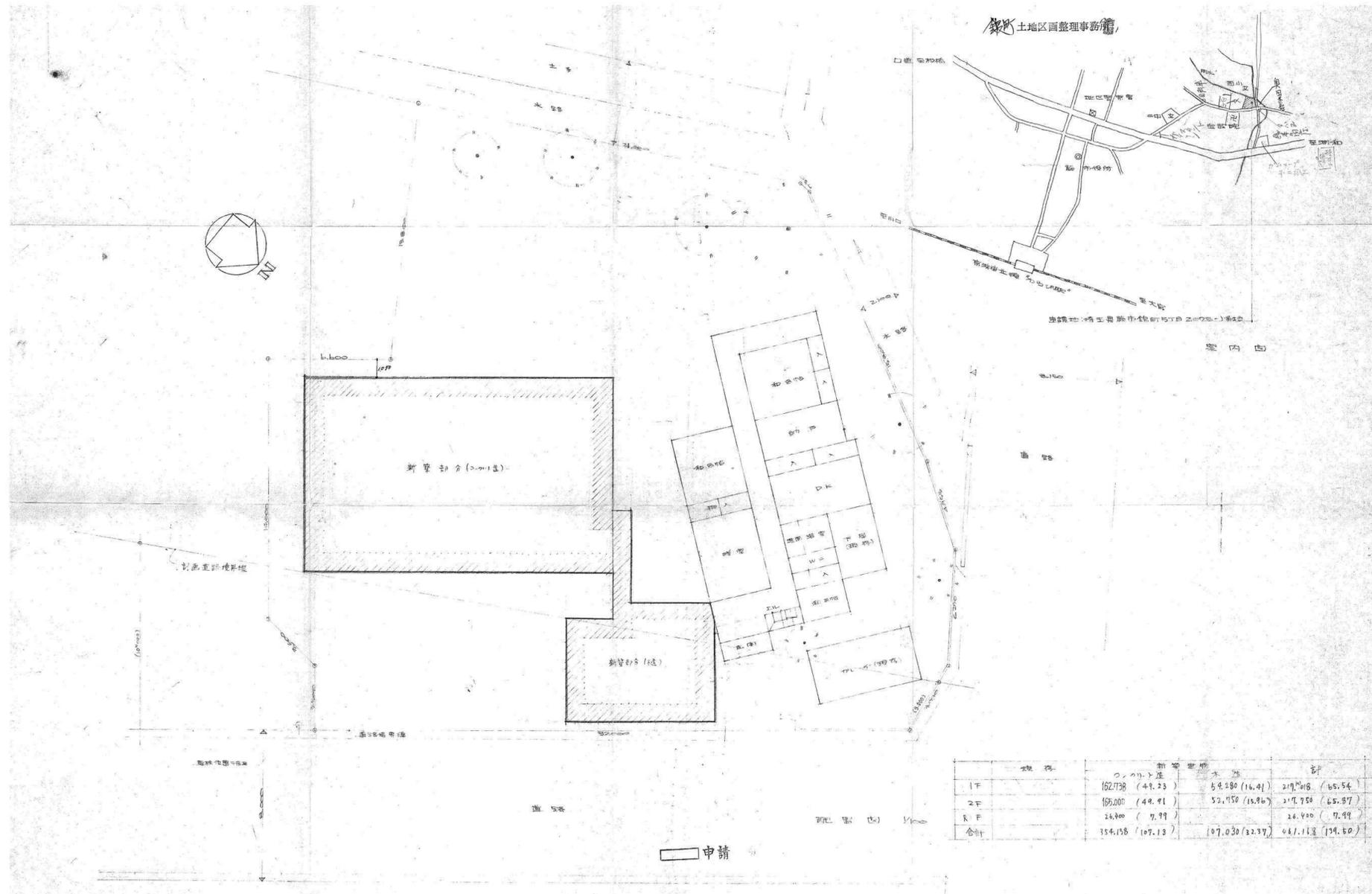
凡例

- 仮囲い 鉄板 H = 3m (113.3m)
- シートゲート (W6m x H4.5m) (2ヶ所)
- 鉄板敷き: 鋼板 (ア) 22 (684.0㎡)
- ゴムシート敷き: 防滑 (ア) 5 (14.0㎡)
- ⊗ 交通誘導員

医院棟、医院付属棟、住宅棟、住宅付属棟 解体撤去
敷地内上記付属物・外柵・樹木等(外構図参照) 解体撤去
撤去後、重機にて整地を行う。撤去後GL = 道路面-500程度
北側暗渠側壁の崩壊の無い様、解体作業時や養生設置・撤去時に
細心の注意を払うこと

仮設計画図 1/100

NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号 田中謙也	興知事登録(8)1718号	DATE JOB	TITLE 飯野医院解体工事	ITEMS 仮設計画図	SCALE (A3 1/200) A1 1/100	NO. A — 04
------	-----------------------------------	---------------	-------------	-------------------	----------------	---------------------------------	---------------



NOTE

株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号
1級建築士281144号 田中謙也

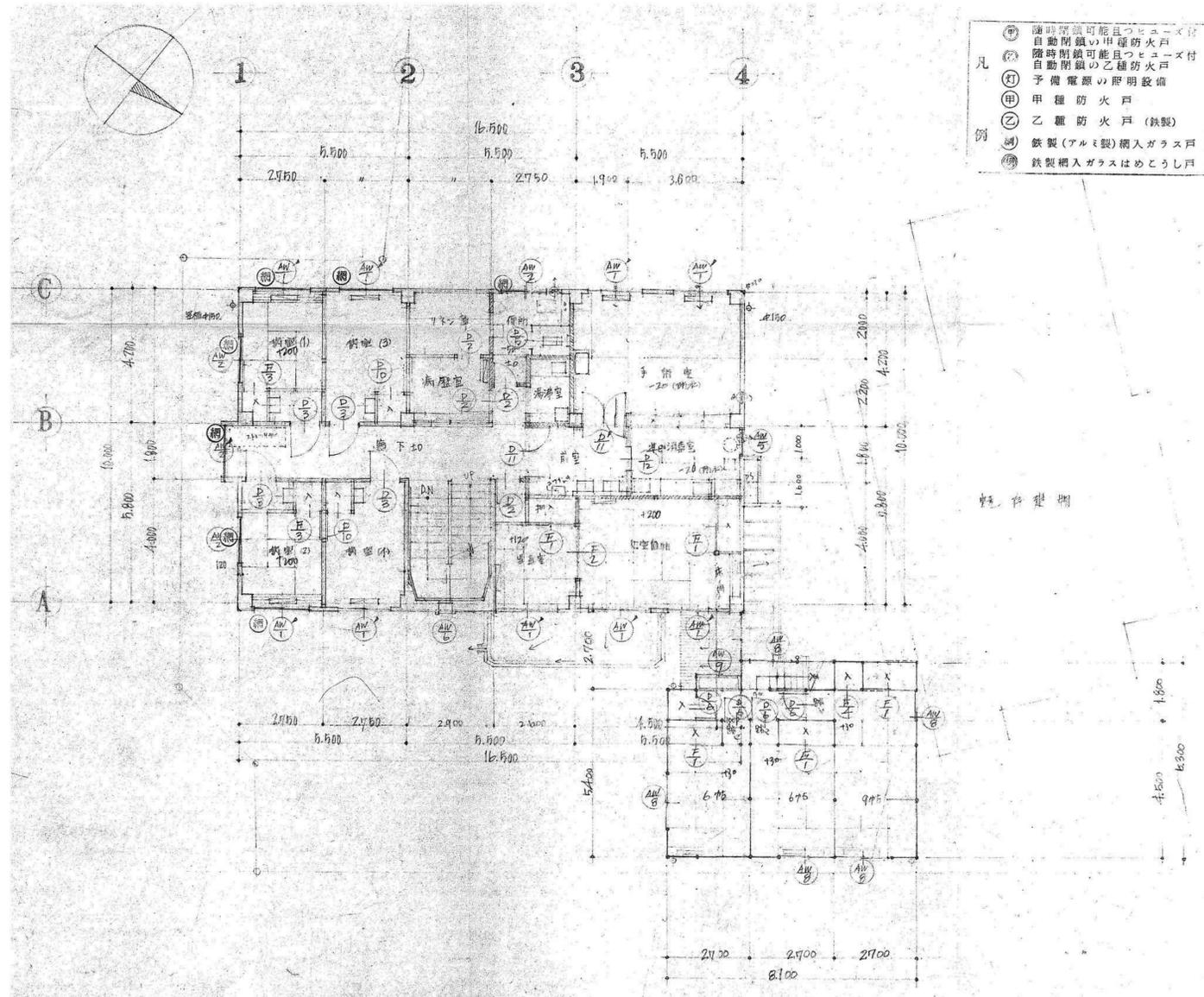
DATE
JOB

TITLE
飯野医院解体工事

ITEMS
医院棟
配置・案内図

SCALE
(A3 1/200)
A1 1/100

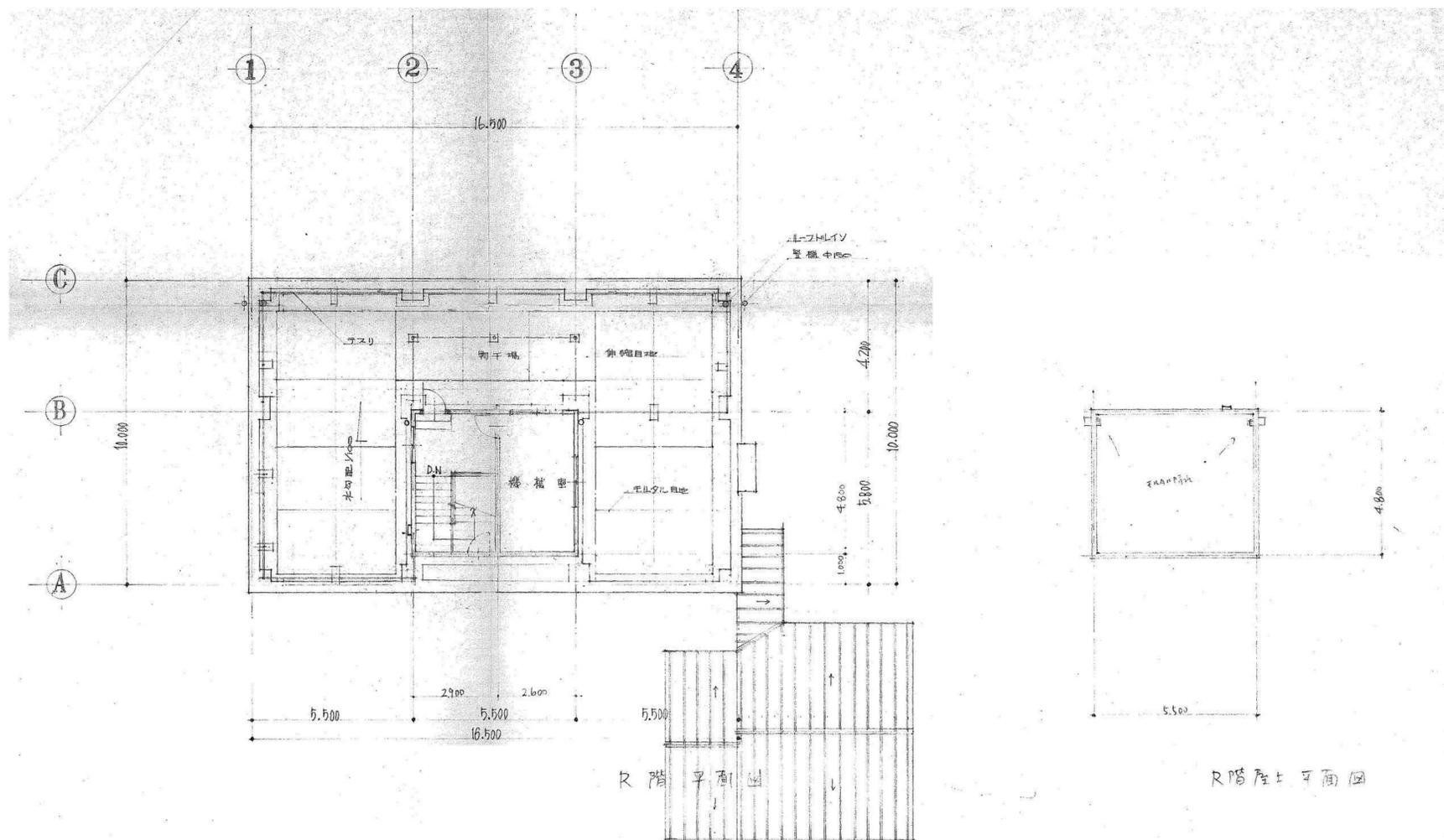
NO.
A — 101



- 凡例
- 隨時閉鎖可能且つヒューズ付自動閉鎖の甲種防火戸
 - 隨時閉鎖可能且つヒューズ付自動閉鎖の乙種防火戸
 - 予備電源の照明設備
 - 甲種防火戸
 - 乙種防火戸(鉄製)
 - 鉄製(アルミ製)網入ガラス戸
 - 鉄製網入ガラスはめこし戸

床面積 214.690 (14.94㎡)

NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号 田中謙也 県知事登録(8)1718号		DATE JOB	TITLE 飯野医院解体工事	ITEMS 医院棟 2階平面図	SCALE (A3 1/200) A1 1/100	NO. A — 104
------	---	--	-------------	-------------------	-----------------------	---------------------------------	----------------



NOTE

株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号
 1級建築士281144号 田中謙也

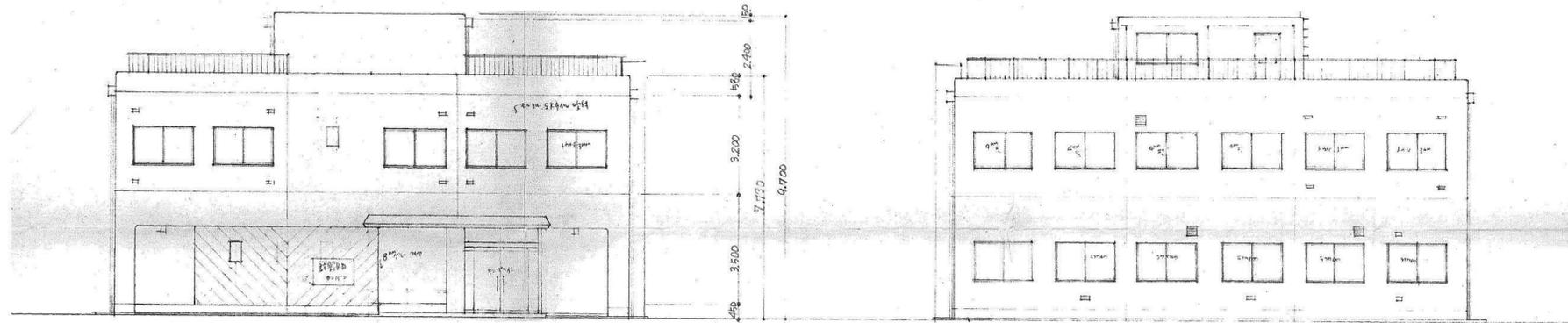
DATE
 JOB

TITLE
 飯野医院解体工事

ITEMS
 医院棟 R階平面図

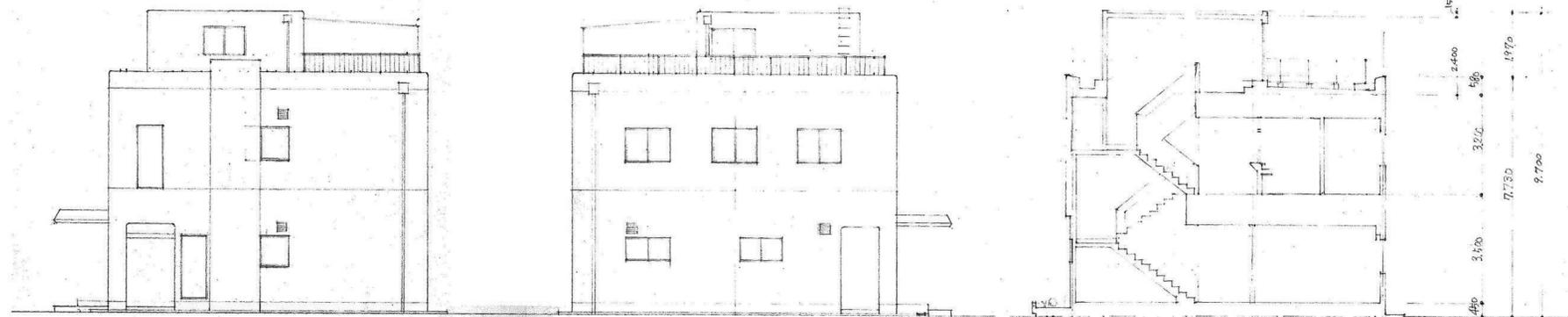
SCALE
 (A3 1/200)
 A1 1/100

NO.
 A — 105



東 面 図

西 面 図



北 面 図

南 面 図

断 面 図

NOTE

株式会社 細 田 設 計 1級建築士281144号	県知事登録(8)1718号 田 中 謙 也
---------------------------------	--------------------------

--	--

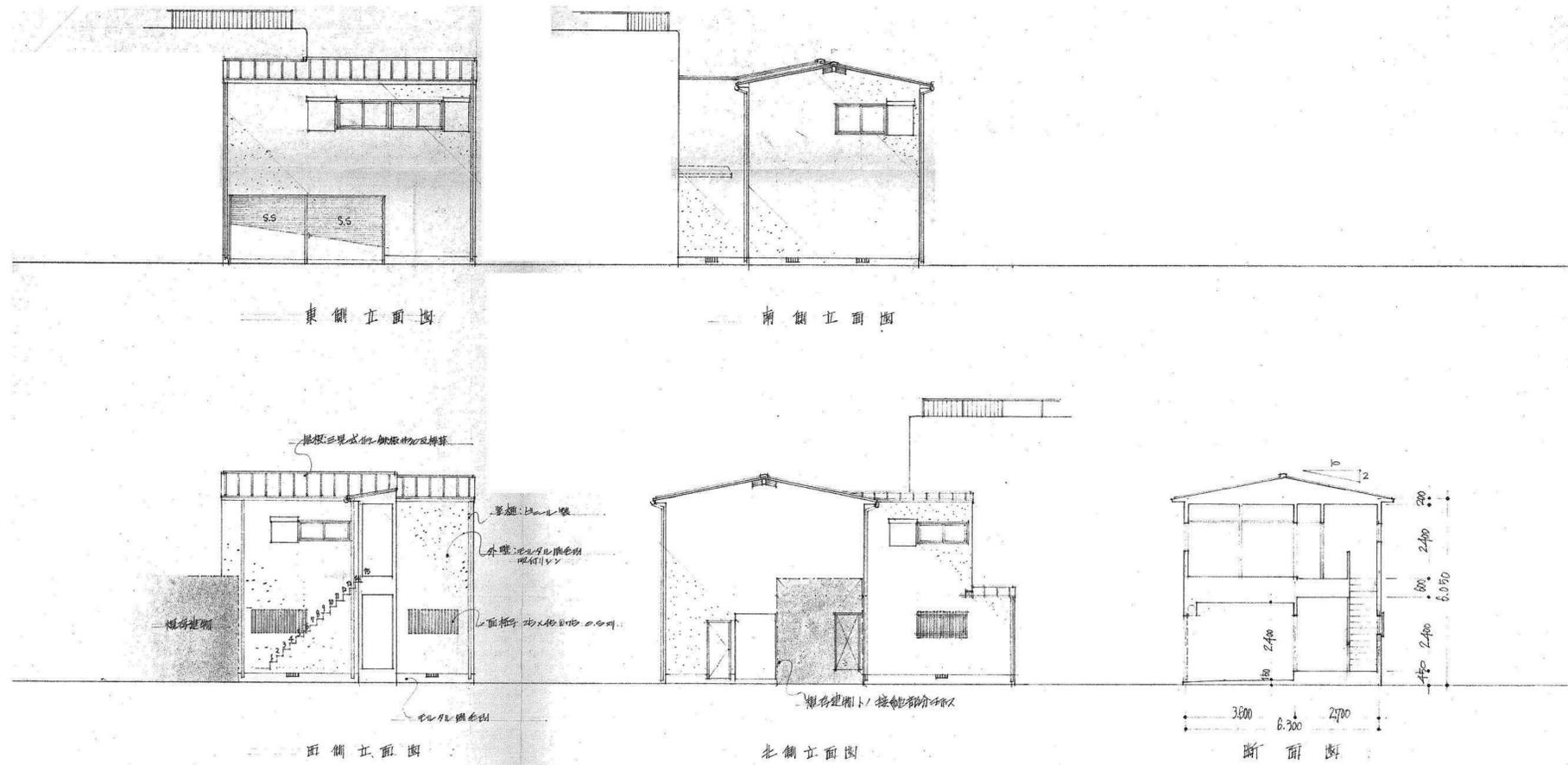
DATE
JOB

TITLE
飯野医院解体工事

ITEMS
医院棟 立面・断面

SCALE
(A3 1/200) A1 1/100

NO.
A — 106



NOTE

株式会社 細田設計 1級建築士281144号	県知事登録(8)1718号 田中謙也
------------------------------	-----------------------

--	--

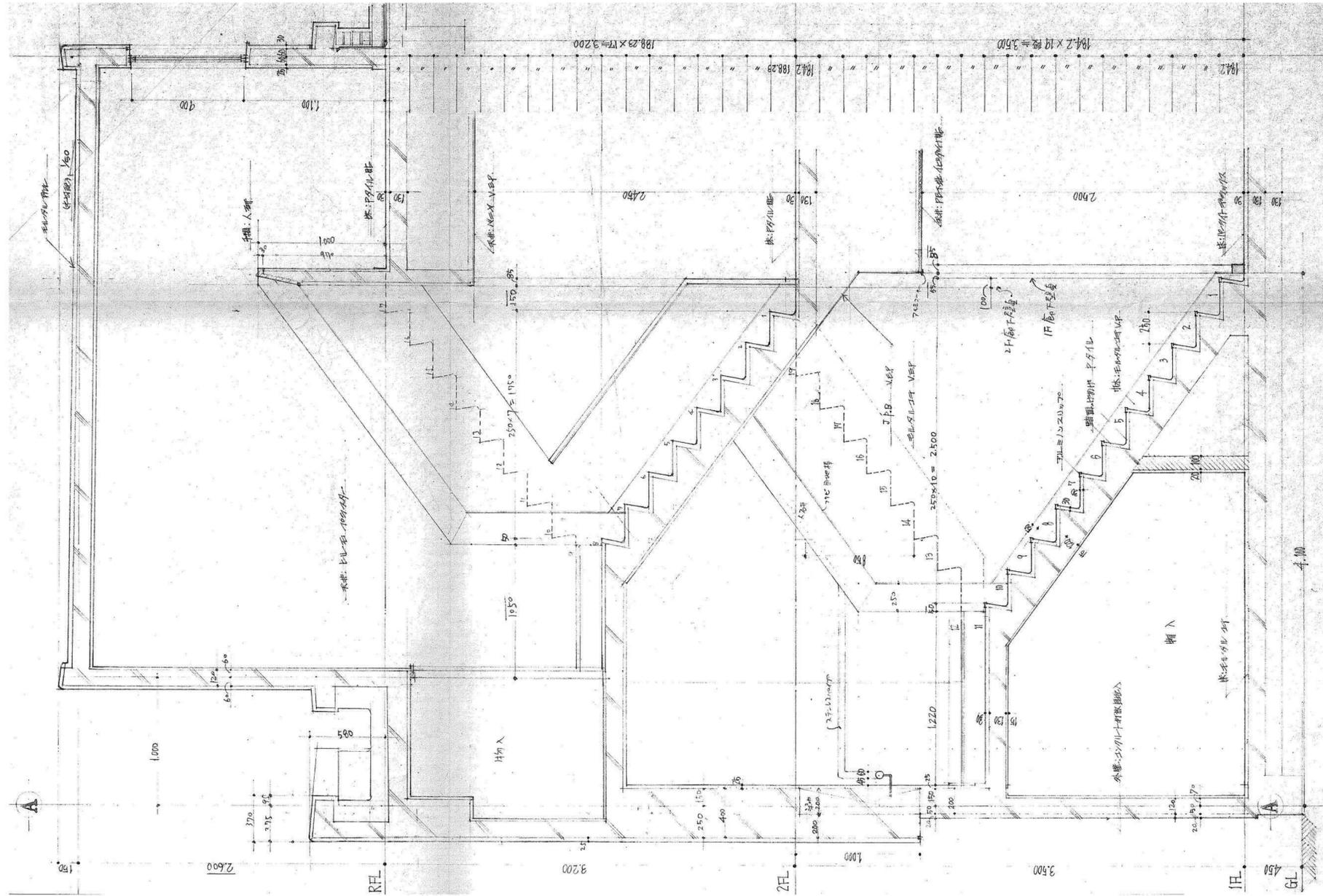
DATE
JOB

TITLE
飯野医院解体工事

ITEMS
医院棟 木造棟

SCALE
(A3 1/200) A1 1/100

NO.
A — 107



NOTE

株式会社 細田設計 1級建築士281144号	細田設計 1級建築士281144号 田中謙也	県知事登録(8)1718号
------------------------------	------------------------------	---------------

--	--	--

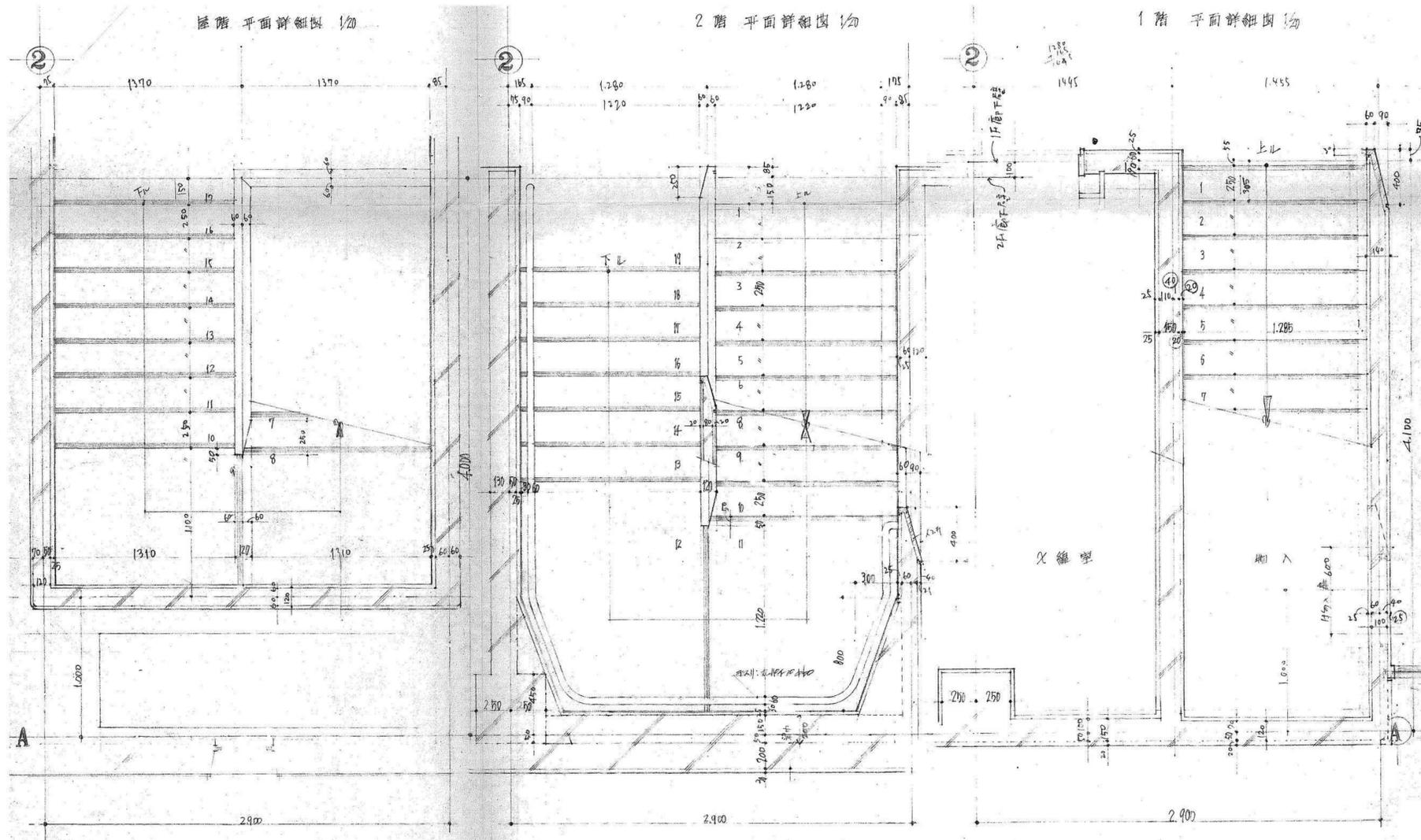
DATE JOB

TITLE 飯野医院解体工事

ITEMS 医院棟 階段断面詳細

SCALE (A3 1/40) A1 1/20

NO. A — 109



NOTE

株式会社 細田設計
 1級建築士281144号
 田中謙也
 県知事登録(8)1718号

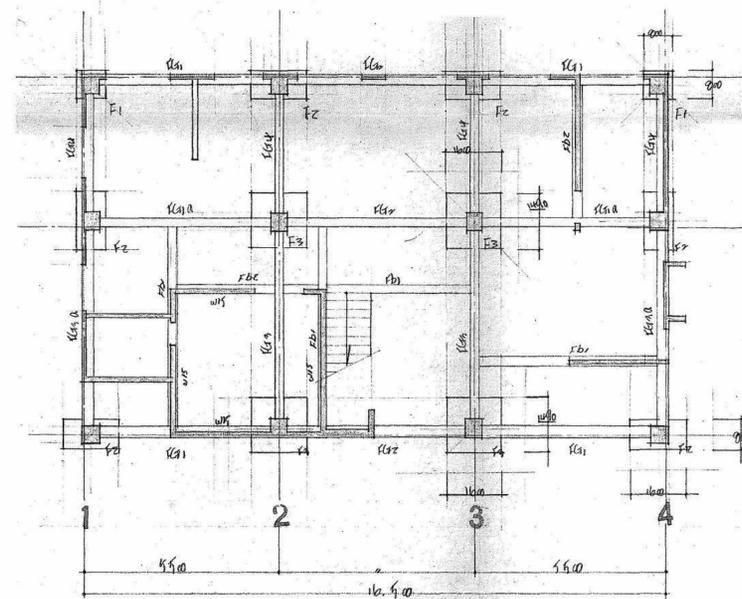
DATE
 JOB

TITLE
 飯野医院解体工事

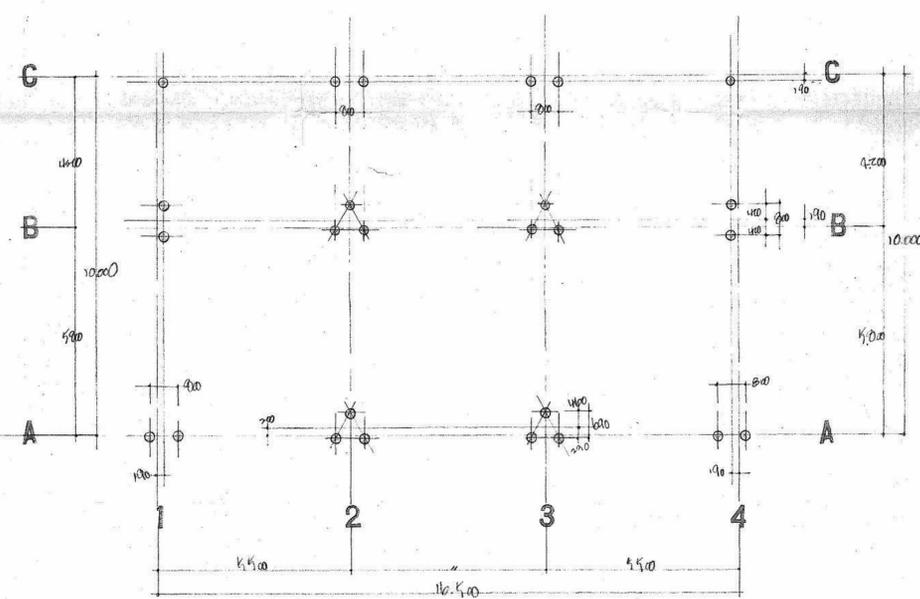
ITEMS
 医院棟
 階段平面詳細

SCALE
 (A3 1/40)
 A1 1/20

NO.
 A — 110



基礎伏図 1/100

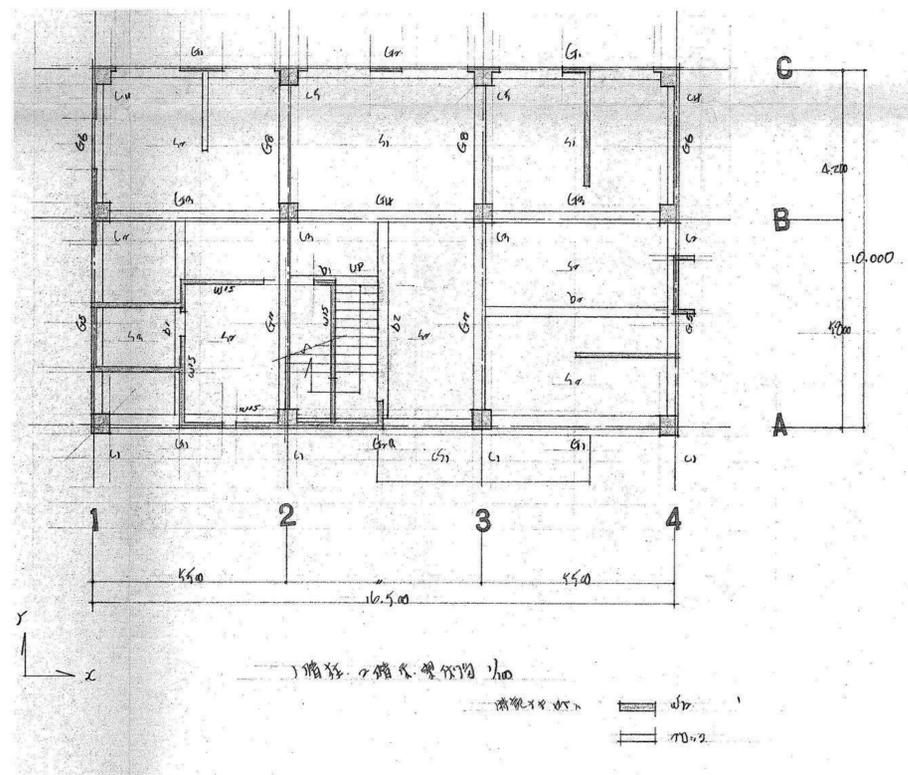


杭伏図 1/100

杭耐力 45 t / 本 300(PC) L=19m 杭本数26本

既存杭は、「引抜き工法」(オガーケーシング回転引抜き撤去、チャッキング工法と同等以上)にて引抜き、流動性処理土にて埋め戻しを行う
基礎解体時、既存杭の柱頭中心部を測量し、引抜きの際、杭の心出しを実施する

NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号 田中謙也 県知事登録(8)1718号	DATE JOB	TITLE 飯野医院解体工事	ITEMS 医院棟 基礎・杭伏図	SCALE (A3 1/200) A1 1/100	NO. A — 111
------	--	-------------	-------------------	------------------------	---------------------------------	----------------



NOTE

株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号
 1級建築士281144号 田中謙也

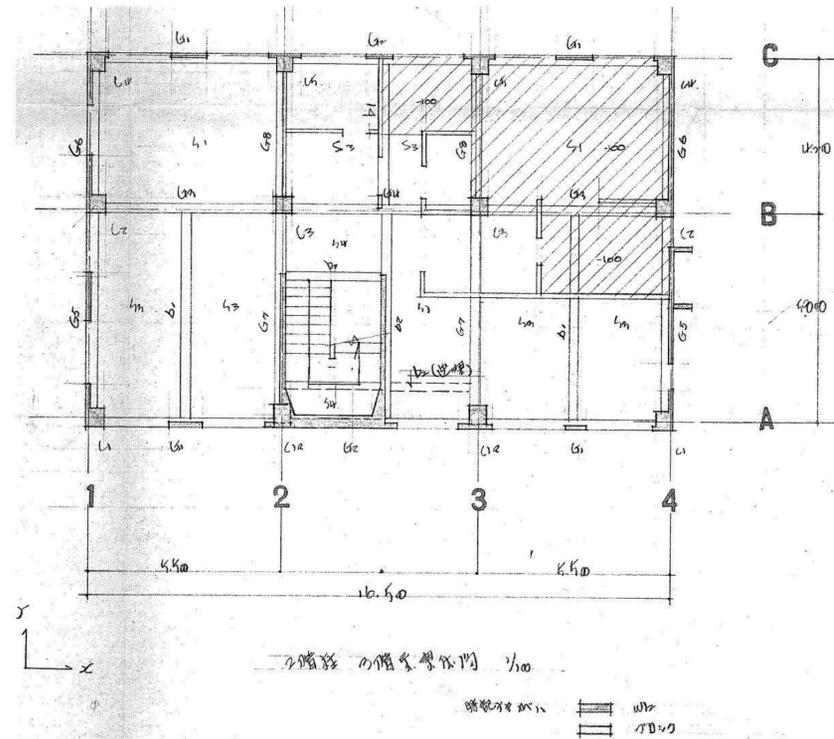
DATE
 JOB

TITLE
 飯野医院解体工事

ITEMS
 医院棟
 1階柱・2階梁伏図

SCALE
 (A3 1/200)
 A1 1/100

NO.
 A — 112



NOTE

株式会社 細田設計
 1級建築士281144号
 田中謙也
 県知事登録(8)1718号

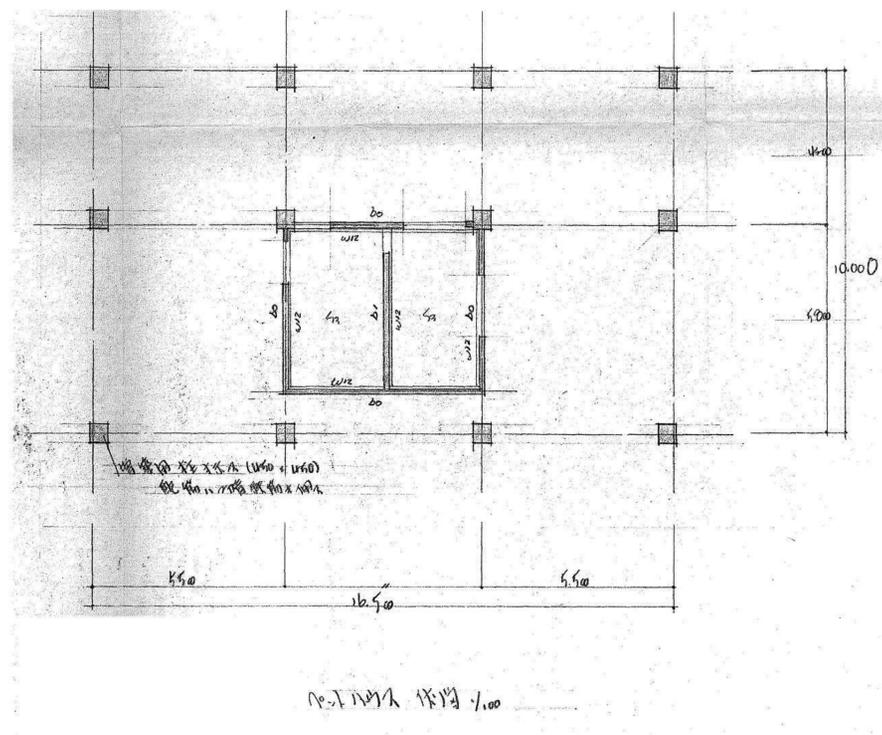
DATE
 JOB

TITLE
 飯野医院解体工事

ITEMS
 医院棟
 2階柱・3階梁伏図

SCALE
 (A3 1/200)
 A1 1/100

NO.
 A — 113



NOTE

株式会社 細田設計 1級建築士281144号	県知事登録(8)1718号 田中謙也
------------------------------	-----------------------

--	--

DATE
JOB

TITLE
飯野医院解体工事

ITEMS
医院棟 ペントハウス伏図

SCALE
(A3 1/200) A1 1/100

NO.
A — 114